

第六類 第一號

(三〇五)

第六十四回帝國議會
衆議院

造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案外二件委員會會議錄(記)第十九回

會議

昭和八年三月十一日(土曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 金光 庸夫君

理事堀川 美哉君 理事鷺野米太郎君

理事中 亥歳男君

木暮武太夫君 兼田 秀雄君

丹下茂十郎君 森田 福市君

田中喜代松君 大山斐瑳磨君

壽原英太郎君 杉本國太郎君

小谷 節夫君 小川郷太郎君

手代木隆吉君 勝 正憲君

前田房之助君

出席政府委員左ノ如シ

北海道廳長官 佐上 信一君

大藏省主稅局長 中島 鐵平君

農林省山林局長 木島 駒藏君

農林省畜產局長 村上龍太郎君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

シ

大藏書記官 飯田九州雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

○金光委員長 是ヨリ開會致シマス、關稅

定率法中改正法律案、昭和七年法律第四號

中改正法律案ヲ議題ニ供シマス、前會ニ引

續キ政府ニ對スル質問ヲ許シマス、前會ハ

中島彌團次君ノ質問ニ對スル政府ノ御答辯

ヲ延期シテ居リタリマスガ、其政府ノ

御答辯ハ、中島彌團次君ノ出席シテ居ル場

合ノ方ガ都合ガ宜イト存ジマスカラ、此場

合他ノ質問ヲ許スコトニ致シマス——杉本

國太郎君

○杉本委員 私輸入材關稅改正法ノ内容ニ

付テ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、ソレ

ニ先ダチマシテ大藏當局ニ御伺シタイノ

ハ、昨年關稅改正案ノ出マシタ臨時議會ノ

當時、愛知縣知多半島武豐港ニ外材ヲ輸入

シマシテ、ソレガ印度行ノ茶箱ニ製函スル

理由ノ下ニ、工場ヲ保税倉庫ト致シテ關稅

ヲ其儘保税致シテ、サウシテ輸出向ニ製品

化スル場合ニ免除スル、斯ウ云フヤウナコ

トガアッタ、更ニ北海道、和歌山方面ニモソ

レ等ニ類シタヤウナ取扱ガアッタ、斯様ナコ

トヲ聞イテ居リマシタ、又是ハ眞力偽力分

リマセヌガ、米枵材、即チ需要先ハ野田ノ

醬油ノ容器ニスル、醬油容器モ蓋及ビ底ニ

致スモノデアリマス、醬油ハ元來相當ニ輸

出ガ行ハレテ居ル、此輸出向醬油容器ヲ保

稅ノ儘加工シテ輸出ニ振向ケル、斯様ナ

風ニ便宜取扱ツテ居ルノグラウト云フヤウ

ナ話ヲ聞イテ居リマシタノデスガ、只今御

尋致シマシタ事柄ニ付キマシテ當局カラ御

説明ヲ御願シタイト思ヒマス

○中島政府委員 只今杉本サンノ御話ハ、

大體仰セノ通りデアリマス、確力武豐ト、

北海道ニモ二箇所アツタカト記憶致シマス

ガ、只今御話ノヤウニ、輸出ノ包裝用ニ致

スト云フヤウナ關係カラ、保税工場ヲ許シ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

地租ノ免除ニ關スル法律案(安達謙藏君外一

名提出)

間接國稅犯則者處分法中改正法律案(安達謙

藏君外一名提出)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入稅ノ

從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

テ居ルサウデス、併シ是ハ御承知ノ通り内

地ノ木材トノ關係ガアリマスノデ、之ヲ無

限ニ許スト云フコトモ考ヘモノデアリマス

カラシテ、ソレノ方々カラノ申出モアリ

マシタカラ、其後此保税工場ヲ許スト云フ

コトニ付キマシテハ、慎重ナル考慮ヲ拂ッテ

居リマシテ、昨年恰度其問題ガ起リマシテ

カラハ許シテ居ナイ譯デアリマス、サウ云

フコトニナッテ居リマス

○杉本委員 モウ一ツ醬油容器ニ使ヒマス

ルモノデ、野田方面ニ振向ケルモノ、是ハ

此製材ハ確力、清佳カ神奈川製材所デナイ

カト想像致シマスノデスガ、是モ醬油ヲ輸

出スルト云フ名ノ下ニ、保税ノ儘原木ノ

加工ヲ許シテ居ルト云フ話ヲ聞イテ居ルノ

デアリマスガ、ソレ等ノ取扱ニハ左様ナモ

ノガアルカナイカ、御知ラセテ願ヒタイ

○中島政府委員 只今ノ杉本サンノ御話

ハ、サウ云フコトヲ耳ニ致シマシテ、當局

デ調査致シマシタ所其事ハアリマセヌ

○杉本委員 私ハマダ繼續シテ質問シタイ

ノデスガ、少シ調ベル所ガアリマスカラ、一先ヅ是デ止メタイト思ヒマス

○中島政府委員 丁度御質問ノ切レマシタ所デ、昨日勝サンカラ御尋ノ長丸太ト、南洋材及蒟蒻芋ト云フモノ、稅率ニ付テ御答ヲ致シテ置キマス、長丸太、南洋材ニ付キマシテハ、大體從價一割ト云フコトニナッテ居リマスガ、此長丸太ハ從價一割ト云フコトヲ目標ニシタノデハアリマセヌガ、稍平均額カラ出シマス、從價一割ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ蒟蒻芋ノ方ハ稅率ハ確力野中サンノ御質問ニ御答シタト思ヒマスガ、支那カラノ蒟蒻芋ト、南洋カラノ蒟蒻芋ヲ兩方平均致シマシテ、此稅率ハ五割見當ニ當ッテ居ルノデアリマス、是ダケ御答ヲ致シテ置キマス

○勝委員 從價一割ト言ハル、ノハ、例ヘバ御調べニナッテ過去何箇月ノ平均相場何が幾ラニナッテ、ドウナッテ居ルト云フ根據ノ數字ガ御手許ニアルノデアリマスカ

○中島政府委員 大體昨年ノ下半期ノ輸入平均額ニ對シマシテ、從價一割ト云フコトニ當ルノデアリマス

○手代木委員 私モマダ十分ニ材料ヲ整理致シテ居リマセヌガ、私ハ主トシテ木材ノ關稅ニ付テ質問ヲ致シタイト思ヒマス、此

木材關稅問題ハ第五十九議會以來、長イ間解決ガ付カナイデ居ッタ問題デアリマス、今度政府案トシテ、此南洋材及長丸太ニ對スル課稅ヲ提案ニナリマシタコトハ、私共トシテ洵ニ満足ヲ致シテ居ル所デアリマス、然ルニ此委員會開始以來、木材ニ對シテハ大分反對ラシイ御質問モアルヤウニ見受ケマス、私トシテ洵ニ此點ハ遺憾ニ考ヘマス、第五十九議會ノ時ニハ時ノ農林大臣モ、南洋材ナドノ輸入ガ段々増加スルコトニナレバ、必ズ關稅ニ付テハ考慮ヲスルト云フコトモアリ、昨年第六十二議會デハ、當時ノ委員會ハ滿場一致デ付帶決議ヲ致シタノデアリマス、政府モ其付帶決議ノ點ヲ考慮セラレテ提案セラレタト云フコトヲ御說明ニナッテデアリマスガ、當時ノ委員中、今回モ委員ヲ兼ねテ居ルノハ中島彌團次君、永田君、杉本君、ソレニ私デアリマシガ、中島君ナド何カ昨日アタリノ質問ニ見マシテモ、甚ダ不理解ナ所ノ質問デアルト私ハ考ヘテ居リマス、中島君ナド熱心ニ課稅ヲ主張シタ一人デアリマス、六十二議會ノ當時ニ於テハ、各員カラモ熱心ニ、詳細ニ質問ヲ致シ、私モ農林當局、拓務當局ニ對シテ隨分詳細ナ質問ヲ致シタノデアリマシテ、此處ニ當時ノ速記録ガアリマス

ガ、之ニ依リマシテモ、論議ガ殆ド盡サレテ居ルト考ヘルノデアリマス、唯、今日問題ニナルノハ、爲替ノ變動ノ結果デアリマス、此一點ダケデアルト思フノデアリマシガ、然ルニ昨今此課稅ニ反對スル方面カラ種々ナル陳情ナリ、或ハ「パンフレット」ナドガ參リマスルケレドモ、是等ハ矢張十分ニ理解シテ居ラナイ、所謂認識不足ノ結果、徒ニ反對シテ居ルモノ、ヤウニ思ハレルノデアリマス、ソレデ問題ニナル點ガ幾ツモアルヤウデアリマス、私ハ左様ナ認識不足、若クハ誤解ノ點カラ、斯様ナ問題ニ反對スル者ガアルト云フコトハ、洵ニ我國ノ林業政策ノ上カラ言ウテモ取ラヌ所デアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ、其後如何ナル變化ガアルカト云フコトニ付テ、當局ニ尙ホ質問シテ見タイト考ヘルノデアリマシガ、第一ニ反對スル者ノ中ニ、南洋ニ於ケル木材企業ハ邦人ガ相當ナ投資ヲ致シテ事業ヲ致シテ居ル、其海外發展ヲ阻止スルコトニナル、斯ウ云フヤウナ意見ガアルノデアリマスガ、私ノ承知シテ居ル所デハ、是ハ殆ド言フニ足ラナイ狀態デアル、企業者ノ如キハ、全部ヲ數ヘテモ七人カソコラデ、現ニ實際ニ事業ヲヤッテ居ル者ハ二三ニ過ギナイ、サウシテ投資額ニシタ所デ約七十

萬圓、又日本人ノ木材業ニ從事シテ居ル者ガ約三百人内外デ、大部分ハ皆南洋ノ土人、支那人ナドガ伐ッタモノヲ海岸デ買入レデ、ソレヲ持ッテ來ルニ過ギナイ、單ナル一個ノ貿易品ニ過ギナイヤウナ狀態ニアル、尙又伐採權ヲ有ッテ居ル者ガアルケレドモ、左様ナ者ニシタ所ガ、大シタ問題デナイヤウデアリマス、其狀態ニ付テハ、今モ矢張左様ナ狀態ニアルノデアルカ、此點ニ付テ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○中島政府委員 只今ノ南洋ニ於キマス邦人ノ事業狀況ニ付キマシテハ、拓務省ノ當局者カラ御答ヲ願フ方ガ適當ダト思ヒマス、北島政府委員カラ申上ゲマス

○北島政府委員 南洋ニ於ケル邦人ノ木材業ノ現況ニ付テノ御尋デアリマスガ、拓務省デ調査シタ所ニ依リマス、事業經營ノ名前ハ分ッテ居リマスガ數ハ略シマシテ、實際投資額ハ四百七十萬圓、租借面積ガ四十萬町步、ソレカラソレノ蓄積材石ガ二億一千二百六十萬石、ソレカラ搬出量ガ四十九萬四千石ト云フコトニナッテ居リマス、此南洋方面ノ邦人ノ企業者ガ内地ニ移入致シマス數量ノ中、多少ノ買材ガアルト云フコトハ、是ハ吾々モ認メテ居リマスガ、併シソレハ全體ノ半數程度デハナイカト云フ

風ニ考ヘテ居リマス

○手代木委員 農林當局ニ御伺ヒ致シマスガ、只今拓務省ノ御調査ヲ御承認ニ相成リマスカ、何カ是ト違ッテ農林當局ノ御調査ガアルノデアリマスカ、農林當局ノ方ハ如何デアリマスカ

○木島政府委員 農林省トシテ調査シタ所ニ依リマス、大體拓務省ノ言ハレタ通りカト思フノデアリマスガ、現在ニ於テ實際ニ企業シテ居ル者ハ僅ニ三法人ニ過ギズシテ、後ノモノハ不景氣ノ爲ニ休止シテ居リ、隨テ實際ニ伐採シテ居ルモノハ全體ノ數量ノ三割位デアッテ、後ハ買材ニ依テ移入シテ居ルモノト、斯ウ云フヤウナ風ニ私共思ッテ居リマス

○手代木委員 其只今仰シヤッタ三法人ノ名前ヲ伺ヒタイト同時ニ、私が昨年六月農林當局ニ御尋ネシタ時ニハ、投資額ハ七十萬圓ト云フコトヲ明ニセラレテ居リマス、然ルニ今拓務當局ノ御答ハ、四百七十萬圓ト云フコトデ、飛デモナイ相違ヒカト思ヒマスガ、此相違ハ一體何處ニアルノデアリマスカ、其點ヲ併セテ兩方カラ御答ヲ願ヒタイ

○木島政府委員 今實際ニ伐採シテ居ルト云フ先程申シマシタ法人ハ「ティフンコ」

株式會社、「タゴン」商會社、ソレカラ南

洋林業株式會社デ、先程拓務省カラ御答ニナリマシタ總額ハ、全體ノ林業者ノモノデ、七十萬ト申シマスノハ今申シタ三ツノ會社ノモノト思ヒマス、拓務省ノ言ハレタヤウニ、今企業シテ居ルモノデ、實際ニ伐採シテ此方ヘ持ッテ來ルモノハ三ツデアリマスガ、實際ニ伐採權ヲ持チナガラ、休業シテ居ルモノガ七八ツアリマス、サウ云フモノヲ合セマスルト先程拓務省ノ答ヘラレタ所ニナリマスノデ、七十萬圓ト云フノハ大體「ティフンコ」ト「タゴン」兩會社ノ投資額デ、南洋林業ハ最近始メタモノデアリマス

○手代木委員 移入數量ハ拓務省ノ方ハ約半分程度ト見ラレ、農林當局ハ約三割程度ト見マス、其間ニモ大キナ開キガアリマス、尙ホ今三法人企業ノ名前ヲ伺ヒマシタガ、其資本系統ヲ分ッテ居リマスナラバ御伺ヒ致シタイ、私ノ知ッテ居ル所デハ三井系統、三菱系統デア、而シテ三井ノ方モ、三菱ノ方モ、此南洋材ニ課税スルコトニ付テハ異論ガナイ、殊ニ三井物產ナドノ代表者ハ屢々山林會ナド、相協同致シマシテ、當局ニ關稅ノ賦課ヲ要求致シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ關係ニ付テハ如何ニ御認

メニナッテ居ルノデアリマス

○北島政府委員 先程實際ノ投資額四百七十萬圓ト申上ゲマシタノハ、所謂全部ノ投資額デアリマスカラ、其中ニハ御話ノヤウニ休ンデ居ルモノモアリマスシ、ソレカラ又實際仕事ヲヤッテ居リマスケレドモ、日本ノ方ヘ木材ヲ持ッテ來ナイデ、外ノ方面ニ木材ヲ持ッテ行クモノモアッテ、内地ニ關係ノナイモノモナイデアハアリマセス、ソレデ會社名ヲ全部一應申上ゲマスト宜シイノデゴザイマスガ、ドウデゴザイマスカ

○手代木委員 ドウゾ御述べ願ヒマス

○北島政府委員 比律賓木材輸出株式會社、ソレカラ「ティフンコ」株式會社、「タゴン」商會社、丸山製材會社、「ダバオ」製材會社、太平洋木材株式會社、以上ハ比律賓デアリマス、窪田「コンパニー」、「ポルネオ」物產、ソレカラモウ一ツ是ハ一寸名前ガ分リマセス、ソレカラ南洋林業、蘇島木材會社、石原産業海運合資會社、大體以上ノ通りデアリマス、此中デ拓務省デ調査致シマシタ所デハ、丸山製材會社、「ダバオ」製材株式會社、南洋林業、斯ウ云フモノガ伐採ハ致シテ居リマスガ、其製品ハ内地ニハ餘リ持ッテ來ナイデ、外ノ方デ大體捌イテ居リマス

○手代木委員 サウシマス、三割ト五割ノ幅ノコトハドウナリマスカ、農林省ノ方デ三割程度ト仰シヤイマスガ、拓務省ハ五割ハ法人ノ企業ニ依ル伐採材量ガ内地ニ入ルト、斯ウ仰シヤルノデアリマスガ、三割ト五割トハ大分ソコニ開キガアリマス

○北島政府委員 三割ト申シマシタノハ昭和六年デアリマス、昨年ハマダ南洋林業會社ガ始メテ居リマセスノデ、四割ト云フ風ニナッテ居リマス、今度南洋林業ヲ入レマスト云フト、或ハ拓務省ノ言フヤウニナルカモ知レマセス、昨年ノ調査ニ依リマスレバ四割ト云フコトニナッテ居リマス、一昨年ハ三割デアリマス

○手代木委員 今恰度北海道長官ガ見エテ居リマスケレドモ、北海道長官ハ豫算ノ關係デ餘程御忙シイサウデアリマスカラ、此際長官ニ關スル質問ヲ致シタイト思ヒマス、此南洋材ハ内地ノ潤葉樹材ト相對抗スルノデアリマスガ、特ニ其中北海道材ガ最モ是ノ關係ガ重大デ、大ナル壓迫ヲ受ケル立場ニ居ル譯デアリマス、然ル所北海道ト南洋トノ關係ニ於テ又他ノ貿易關係ガアルノデ、ソレ等ノモノガ此南洋材ニ課税スルレバ、北海道ノ他ノ輸出貿易ノ上ニ影響ヲ齎ラス、斯ウ云フコトデ色々反對ノ陳情モ

アルヤウデアリマス、多分長官ノ手許ニモ左様ナ意見ヲ申シテ來ル者モアルガラウト思ヒマスガ、私ノ見ル所デハ左様ナモノハ極ク輕微ナモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、長官ノ見ラレル所、北海道カラ南洋ニ輸出ヲシテ居ル種々ナル貿易品、ソレ等ガ一體ドシテ種類デ、如何ナル數量、金額ニナリ、而シテ此課税ノ結果、直接影響デモ受ケルヤウナ關係ニ立ツ所ノ品目及ビ左様ナ關係ニ對シテ長官ハ如何ナル意見ヲ有テ居ラレルカ、其點ヲ出來ルダケ詳細ニ御説明願ヒタイト思ヒマス

○佐上政府委員 手代木君ノ御質問ニ御答致シマス、北海道ノ生産物デ、海外ニ輸出シテ居リマス主ナモノハ海産、農産、林産、鑛山、其他所謂工業、石炭等ノ如キモノデアリマシテ其輸出總額ハ二千二百萬圓カラ二千五百萬圓内外ニ達シテ居リマス、其中デ比律賓ニ對スル分ハ大體三%カラ四%ノ間ヲ往復シテ居ルノデアリマス、其品物ノ主ナルモノハ、石炭、玉葱、馬鈴薯、鹽、元豆、林檎、干鰯、「トマトサーディン」、鰯ノ罐詰ト云フヤウナモノデアリマス、石炭ヲ除イテ他ノ農作物、水産物ノ對外貿易デハ、是ハ恰度支那ノ事件ガ發生致シマシテ、北海道ノ對支貿易ガ非常ニ困難ヲ致シテ居リマス

關係カラ、南洋方面ニ市場ノ開拓ヲ致シテ宜カラウト云フノデ、丁度私ガ參リマシテ、見本市ノ船ヲ仕立テマシテ、比律賓ノ方ニヤリマシタ、丁度今年ガ私ガ參リマシテ二回目位ニナツテ居ルト思ヒマス、是トテ非常ニ北海道トシマシテハ金額ガマダ少イノデゴザイマス、玉葱ノ如キハ昭和七年三萬一千圓、馬鈴薯三千圓、鹽元豆一萬圓、林檎三千圓、干鰯四萬八千圓、「トマトサーディン」ガ三萬二千圓、ソレカラ鰯ノ罐詰二萬四千圓ト云フヤウナコトニナツテ居リマス、殊ニ將來比律賓貿易ノ關係デ有望デアラウト思フノハ、玉葱及馬鈴薯デアアルノデアリマスガ、是等ハ主トシテ此土地ニ居住シテ居リマス米國ノ軍隊ニ供給スルノデゴザイマス、ソレデ殆ンド玉葱、馬鈴薯ハ既ニ其品質、價格ノ點ニ於テ、北海道ニ匹敵スルヤウナモノガナイ狀況デアリマスカラ、伸ビヨウト思ヒマス、所ガ此伸ビル金額等カラ見マシテモ、北海道ノ潤葉樹七億萬石以上ノ蓄積シタル木材ノ將來ヲドウスルカト云フヤウナコトニ較ベマスレバ、極メテ金額ハ小サイノデアリマス、又此金額ガ將來上ルコトニ致シマシテモ、玉葱及馬鈴薯ハ、生活必需品デアリマスガ爲ニ、關稅ノ障壁ヲ設ケマシテモ、此關稅ノ障壁ヲ

飛越シテ行クコトガ出來、又ソレ等ニ付テハ將來對比貿易ノ輸出振興ニ付キマシテハ、道廳トシテハ別途ノ方法ニ依テ十分ニ其目的ヲ達成シ得ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○手代木委員 大體分リマシタガ、先日はハ、恐ラク關稅ノ委員各位ニ配付カ送付ニナツタモノト思ヒマスガ、私ノ手許ニハ函館ノ商工會議所並ニ北海道南洋貿易協會函館支部、此兩所カラ請願書ガ來テ居リマスガ、是ハ南洋材ニ對スル課稅反對陳情デアリマス、其反對陳情ガ只今ノ長官ノ説明ニ依リマシテ、大體取ルニ足ラナイモノ、ヤウニハ考ヘルノデアリマスガ、特ニ北海道南洋貿易協會函館支部ト云フ、斯様ナ團體ガ、私共ノ聞ク所ニ依レバ此協會ノ組織ハ全道ニ跨リ、而シテ長官ガ此總裁ヲシテ居リ、道廳ノ産業部長ガ副總裁ヲシテ居ル、然ルニ拘ラズ此支部ガ斯様ナ陳情ヲスルト云フコトニ付テハ、是ハ如何ナル所カラ出タノデアアルカ、長官トシテモ或ハ意外ニ考ヘラレルカモ知レマセヌケレドモ、其邊ノコトニ付テ御意見ヲ承リタイ

○佐上政府委員 此點ハ過日モ農林省邊リカラ私ニ御尋ガアッタノデアリマスガ、實ハ南洋貿易協會ト云フノハ、見本船ヲ南洋ニヤ

リマシタ後デ、將來取引關係ヲ持續スル一ツノ機關ヲ作ッタ宜カラウト云フコトデ道廳内ニ其本部ヲ作り、函館ト小樽ニ支部ヲ作ッタノデアリマス、ソレデ此問題ニ付キマシテ、過日は非南洋貿易協會トシテ南洋材ニ對スル關稅問題ニ付テ、反對ノ態度ヲ執ッテ吳レト云フコトヲ函館支部ノ人ガ私共ニ申シテ參リマシタカラ、潤葉樹ニ對シテ木材關稅ヲ課スルト云フコトニ付テハ道論ノ一致シタ所デアリ、北海道ガ多年政府ニ要望シテ來テ居ル所デ、道民殆ド一致ノ希望トモ云フベキモノデアアル、之ヲヤラナケレバナラス、而シテ將來南洋ニ伸ビヨウト云フモノガ報復關稅ノ爲ニ困ルヤウナコトガアレバ、ソレニ對シテ道廳ハ責任ヲ以テ對策ヲ講ズルカラ、南洋貿易協會トシテハ絕對ニ之ニ對スル反對ハ出來ナイト云フノデ、其反對ヲ拒絕致シマシタ結果、殆ド獨立ノ能力ノナイヤウナ支部ガ、サウ云フヤウナ活動ヲシテ居ルヤウナコトニナツテ居リマスガ、是ハ南洋貿易協會ト云フ本部ガ動カナイ以上ハ、決シテ道ノ輿論デアリマセヌカラ、決シテ其點御心配ニ及ビマセヌ

○手代木委員 協會ニ對スル質疑ハソレデ濟ム譯デアリマスガ、尙ホ序デナガラ北海道ノ林業ニ對シテ長官ハ如何ナル御意見ヲ

有ッテ居ラレカ、將來是ガ助成ヲスルト
カ、或ハ北海道材ノ輸出、或ハ中央市場ニ
對スル是ガ取引等ニ對シテモ、其邊ノ御意
見ヲ伺ヒタイ

○佐上政府委員 北海道ノ木材ノ將來ノ販
路擴張ノ問題ニ付キマシテハ、拓殖費等ニ
於テ各種ノ生産物ノ販路擴張ノ方法ヲ考究
シテ、其費用ニ付テ政府ニ於テモ十分ニ考
慮シテ居リマス、併シ只今ニ於キマシテハ、
木材ニマデサウ云フヤウナ助成方法ヲ及ス
ダケニ財政ノ餘裕ガアリマセヌノデアリマ
スガ、將來ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、十
分ニ考究ヲ遂ゲタイ、斯ウ考ヘテ居リマ
ス

○手代木委員 長官ニ對スル質問ハ是デ止
メテ置キマス

○森田委員 一寸只今ノ問題ニ關聯シテ、
政府當局及北海道長官ニ御尋ネ申上、ゲルノ
デアリマスガ、元來此南洋材ニ對シテ關稅
ヲ課ケルト云フコトハ、北海道材ヲ擁護ス
ル爲メ、米松丸太ニ對スル關稅ヲ課ケルコト
ハ、朝鮮ノ松丸太ヲ擁護スル爲メ、斯ウ云
フヤウナ理由ニナッテ居ルヤウデアリマス、
然ルニ此南洋材ナドニ輸入稅ヲ課ケルコト
ニ對シマシテハ、拓務省ハドウモ賛成デナ
イト云フヤウナコトヲ聞クノデアリマス、

ソレカラ農林省ハ之ニ課ケテ貰ヒタイト云

フヤウナ意見ノヤウニ聞クノデアリマス
ガ、從テ答辯モシドロモドロデ兩者ガ一
致シナイト云フヤウナ譯デアリマス、斯ウ
云フ機會ニ於テ拓務省ト農林省ト隔意ノナ
イ所ヲ——是ハ吾々ガ之ヲ審議スル上カラ
見テ、是ハ何方ガ眞ニ國家ノ爲ニ宜イカト
云フコトヲ極メテ贊否ヲ決スルノデアルカ
ラ、拓務省ガ思ッテ居ル所ガ善イカ惡イカ、
農林省ガ思ッテ居ル所ガ善イカ惡イカト云フ
コトニ付テモ、忌憚ナク此席デ話シテ載キ
タイ、ソレニ依テ吾々ハ又考慮シナケレバ
ナラスコトデアアル、斯様ニ考ヘルノデアリ
マス、又北海道長官ニ御尋申上、ゲテ見タイ
ト思フコトハ、北海道材ヲ擁護スル爲ニ南
洋材ニ課稅スルト云フコトハ大體分ッテ居
ルガ、北海道材ノドウ云フ種類ノモノト、
南洋材ノドウ云フ種類ノモノトガ衝突スル
ノデアリマセウカ、私ハ勿論北海道材ヲ擁
護スルコトニナレバ——是ハマダ贊否ヲ決
シテナイケレドモ、結局是ナリト思フ所ニ
持ッテ行ッテ贊成スルノデアリマスガ、私共
ノ考デハ、南洋カラ來ルモノハ大體「ラワ
ン」「チーク」ト云フヤウナモノデハナイカ
ト思フ、サウスルト北海道材ノ何ト衝突ス
ルカハッキリ分ラス、何方モ建築材料デア

ノデアリマスガ、其中ノ北海道産ノ桧トカ
南洋材ノ「ラワン」トカハ世間デハ大體ニ於
キマシテ、「ラワン」ハ家具材ニ使ヒ桧ハ下
駄材ニ使ッテ居ル、材料ハ違ッテ居ルガ、「チ
ーク」ニ相當スルモノハ一體ドウ云フ種類
ノモノガ北海道カラ出テ居リマスカ、吾々
ハソレヲ知ラスカラ、審議スル上ニ於テソ
レヲ參考ニ承ッテ置キタイト思ヒマス

○北島政府委員 只今南洋材ニ付テ、拓務
省ト農林省ト意見ガ違フト云フ、其内狀ハ
ドウカト云フコトデアリマスガ、是ハ政府
部内ノ問題デアリマシテ、何方ガドウダ、
拓務省ガドウダ、農林省ガドウダト云フ問
題デハナクシテ、現在政府トシテ、斯ウ云
フ案ヲ出シテ居リマス以上ハ、勿論拓務省
モ農林省モ現在出シテアリマス議案ガ良イ
案ダト考ヘテ居ル次第デアリマス

○木島政府委員 今日ニ於テハ農林省ト致
シマシテモ、今提案シタ所ノ案ガ最モ良イ
ト思ヒマシテ、私共モ同感ノ次第デアリマ
ス

○森田委員 ドウモ是ハ政府案ト仰シヤ
ルガ、アナタ方ハ政府ヲ代表スレバサウナ
ルケレドモ、私共ハ是ハ政治的ノ解決マデ
ナサレタヤウニ聞イテ居リマス、私ハアナ
タ方ハ事務官デアアルト思ウテ御尋ラシテ居

ルノデ、事務的ニ何レガ宜イカト云フコト
ヲ聞イテ居ルノデス、相當ニ拓務省ノ方デ
ハ反對ガアツタコトモ承知シテ居ル、具體的
ニ申上、ゲテモ差支ナイガ、言ハヌガ花ガラ
ウト思ウテ言ハナイノデス、農林省ト拓務
省ノ蹴合ガアツタコトヲ知ッテ居ル、農林省
ハ掛ケタイ、拓務省ハ掛ケタクナシ、相當
ニ多ク論議セラレタ問題ナノデアリマス、
私共ハ揚足ヲ取ルノデモ何デモナイ、聽イ
テ參考トスルノデアリマス、其參考資料ヲ
與ヘテ貰ヒタイ、政務官ナラバソレハムツカ
シイカモ知レヌケレドモ、事務官ハソコハ
一ツ虛心坦懷ニアリノ儘ニ答辯ラシテ貰ッ
タラ要領ヲ得ルト思ヒマス

○木島政府委員 只今ノ初ノ御尋ニ對シテ
ハ、先程申シタ通り、色々内部ノ折衝ハゴ
ザイマシタケレドモ、其折衝ノ結果、色々
ノ點ヲ考慮致シマシテ、現在提案シテアリ
マスル所ノ案ガ最モ良イト斯ウ考ヘテ提案
シタ次第デアリマス、ソレカラ第二ノ南洋
材ト用途ヲ同ジウ致シテ居リマスル北海道
材ハドウ云フモノデアアルカト云フ御尋ニ對
シマシテハ、南洋材ノ「チーク」材ノ御話
ガアリマシタガ、是ハ今度ノ此問題ニハ關
係ハゴザイマセヌ、主トシテ「ラワン」材
デアリマシテ、此「ラワン」材ハ此方ニ參

リマシテ、御承知ノ通り建築及建具材トシテハ、床板デアリマス。トカ羽目板アルトカ、

モ宜イト云フコトデスガ、サウ願ヒマセウカ

○森田委員 ドウゾ願ヒマス

或ハ扉ノ板又窓枠階段等デアリマス、家具材ト致シマシテハ机デアリマス。トカ、卓子デアリマス。トカ、用筆筒ト云フヤウナモノニ使ハレマス、器具材ト致シマシテハ、時計ノ枠デアルトカ、額縁デアルトカ云フヤウナモノニ使フノデアリマス、ソレカラ車輻船舶用材ト致シマシテハ、船室内ノ床板、或ハ羽目板デアルトカ、階段ノ板トカ、扉ノ板、枠、サウ云フモノニ使ハレマス、之ニ相當致シマスル北海道材ノ方ハ桧、「タモ」桂、檜、樺デアリマシテ、桧ト「タモ」ト檜、是ガ大體先刻申上ゲマシタ、建築及建具用材ト致シテハ、羽目板或ハ床板、窓枠等ニ使ハレマス、家具材ト致シマシテハ机、卓子、椅子ト云フヤウナモノニ使ハレマス、ソレカラ桂ト樺ノ方ガ主ニ家具材及器具材ト致シマシテ用ヒラレ、家具材トシテハ机、卓子或ハ書箱ト云フヤウナモノニ使ハレ、器具材ト致シマシテハ、先程申上ゲマシタ時計ノ枠、額縁或ハ張板デアルトカ云フヤウナモノニ使ハレル、大體申上ゲルト斯ウ云フ譯デアリマス

○飯田大藏書記官 私ガ代リマシテ申上ゲマス、關稅ノ問題ニ付キマシテ、殊ニ南洋材ヲ出シマシタコトデ、拓務省ト農林省デ色々ノ論ガアッタガ、其事情ヲ事務的ニ申上ゲルト、斯ウ云フ御話デアリマス、御承知ノ通り關稅ノ問題ハ必ズ課ケルト云フ方ガアルト同時ニ、課ケテハイカスト云フ議論ガアリマス、ソレト同様ニ又各省ニ於キマシテモ、生産者ノ立場ニアル農林省ガアリ、又植民地ノ行政ヲヤル拓務省ガアリ、又大藏省ハ大藏省トシテノ立場ガアリ、之ヲ出シマス迄ニハ色々ノ議論ガアリマシタ、殊ニ南洋材ニ付キマシテハ、御承知ノ通り昨年ノ臨時議會ニモ色々問題ガアリマシタノデ、ソレデハ課ケヤウト云フ議論ニナリマシテ、サウシテ關稅調査委員會マデ行ッタノデアリマス、併シ此問題ニ付キマシテハ、前ニ主稅局長ガ申シマシタヤウニ、課ケタガ宜イト云フ議論ガアルト同時ニ、南洋ニハ先程問題ニナッテ居リマシタ邦人ノ企業ト云フモノモアリ、又南洋ニ於キマシテハ關稅ヲ今動かサウト云フコトモアルカラ、或ハ報復關稅ガ來ルカモ知レヌト云

○金光委員長 森田君ノ今ノ御尋ニ對シテ、關稅課長ガ其決定シタ事情ヲ申上ゲテ

フヤウナ兩論ガアリマシテ、結局、特別委員會ヲ開イテ、特別委員デ更ニ慎重審議スベシト云フコトニナリマシテ、此前ノ議會ニハ出ナカッタノデアリマス、所ガ先程手代木委員カラモ御話ガアリマシタヤウニ、議會デモ是ガ問題ニナリマシテ、色々御研究ノ結果、矢張り課ケタ方ガ宜イト云フヤウナ御趣意デ、關稅定率改正法律案ニ對シマシテ、此木材ニ付テハ、政府部内デ意見ガ合ハナカッタサウダガ、餘リ延ビテハ行カヌカラ、次ノ議會ニハ必ズ提出スベシト、斯ウ云フ附帶決議ガ附セラレタノデアリマス、ソレデ其後關稅調査委員會特別委員會ニ於キマシテ、更ニ非常ニ研究サレタノデアリマス、サウシテ色々研究サレタ結果、比律賓ノ關係、又内地闊葉樹ノ問題等ヲ種々研究サレマシタ結果、此案ガ出タノデアリマス、出マスニ付キマシテモ、矢張り南洋貿易ノ關係及邦人ノ企業ノ點等モ考ヘナケレバ行カスト云フコトデ、サウ云フ點ハ相當稅率ヲ盛ル上ニ考慮致シマシテ、結局此二圓ト云フコトデ提案シタ次第デアリマス、唯其經過ヲ事務的ニ一應申上ゲマス

部ノ關係ヲ森田君カラ御質問ニナリマシタガ、六十二議會ノ時ニハ、委員一致致シマシテ修正案ヲ出ス積リデアッタノデアリマス、ソレニ對シテハ、拓務當局モ同意ヲスルコトニナリマシテ、同意ノ文句マデモチヤント出來テ居ッタノデアリマス、左様ナ所マデ進ンデ居ッタモノデアリマシテ、今回ノ議會ニ於テハ、餘リ問題ガ起ラズシテ是ガ成立スルモノト實ハ考ヘテ居ッタノデアリマス、唯問題ニナルノハ、前ニモ申上ゲマシタ通り爲替ノ變動ノ點デアリマス、是ハ一番此問題ヲ解決スル上ニ重大ナル問題ダト考ヘルノデアリマスガ、此爲替ガ如何ニ南洋材ノ市價ノ上ニ影響シテ居ルカ、爲替ノ暴落シタ割合、南洋材ノ市價ノ上ツタ割合、斯ウ云フヤウナモノニ付テ私ノ調べニ依リマス、甚ダシイ影響ハナイヤウニ思ハレルノデアリマス、輸入數量カラ申スト云フト、却テ増加シテ居ル、ハッキリハ分リマセヌケレドモ、凡ソ一割以上ノ輸入増加ニナッテ居ルト思フノデアリマス、サウシテ南洋材ノ東京ニ於ケル市價ノ騰貴ノ割合ハ、漸ク二割ニ過ギナイヤウデアリマス、二割内外ト思フノデアリマス、爲替ノ暴落ハ六割ナリ七割ナリニナッテ居ルノデアリマセウガ、市價ニ及ボス影響ハ二割程度デ

○手代木委員 只今南洋材ニ對スル政府内

○金光委員長 手代木君ノ繼續質問ヲ許シマス

○手代木委員 只今南洋材ニ對スル政府内

アツテ、而シテ輸入數量ハ却ツテ増シテ居ル、
斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、當局ノ御覽
ニナル所ハ如何デアリマセウカ

○木島政府委員

爲替ノ暴落ト、東京ニ於
ケル所ノ南洋材ノ市價ノ暴落トノ關係デゴ
ザイマスルガ、只今御話ニナリマシタヤウ
ニ、私共ノ調ニ依リマス、丁度六年ノ十二
月金再禁止前ノ昭和六年十一月ノ値段ト、ソ
レカラ昨年八月以降ノ輸入原價トヲ較ベテ
見マス、南洋材ノ時價ニ於キマシテ二〇
%バカリノ値上リニ過ギマセ、一方爲替
ノ方ハ、今申シマシタ兩方ヲ較ベテ見マス
ト六〇%バカリ下ッテ居リマス、爲替ノ下ル
ト云フコトガ、南洋材ノ市價ニ大シタ影響ハ
ナイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス
○手代木委員 ソレハ大問題デアリマスル
カラ、大問題ガ其程度デアルトスレバ、他ハ
殆ド問題ガナイヤウニ思フノデアリマスガ、
併シ能ク反對ヲスル所ノ目標ニナルモノガ
尙ホ四五アルノデアリマス、其點ニ付テノ御
意見ヲ伺ヒタイト思ヒマスルガ、最近モ委
員諸君ノ中ニ配付ニナツタコト、思フノデ
アリマスガ、南洋貿易調査會ト云フモノカ
ラ、南洋材課稅反對論ト云フモノヲ配ッテ來
テ居リマス、之ヲ私共見マス、云フト、大分
尤ラシイ論說デアリマスルガ、是等ハ段々

詮議シマスレバ、殆ド取ルニ足ラナイモノ
ニナルノデアリマス、此中ニ第一ニハ用途
ガ違フト云フヤウナ點ガアルノデアリマ
ス、是ハ先程質問應答モアリマスルカラ、
大體此點ハ分ツタノデアリマスルガ、私共ハ
南洋材ト國產樹材トハ殆ド相一致スルと思
フ、南洋材ハ建築材デ梁ニナツタリ、或ハ其
他大キナ用材トシテ使ハレルト云フヤウナ
コトモ言ハレルヤウデアリマスガ、ソレハ
南洋材ガ非常ニ重量ガアル爲ニ不向デアッ
テ、結局ニ於テヤハリ建築材ニシマシテ
モ、小サナ方ノ用途ニ用ヒマス、大體是
ハ一致スルト云フヤウニ承知致シテ居ル
ノデアリマスガ、其點、ソレカラ今御説明
ガアツタカラ御答辯ハ要求致シマセ、南
洋材ノ方ガ非常ニ高イ、サウシテ北海道材
ノ方ガ安いノデアルカラ、市場ニ於テ競争
スルコトニナラヌデヤナイカ、用途ガ一致
スルナラバ——斯ウ云フコトデアリマスガ
レドモ、成程此政府カラ御配付ニナツタ參
考資料ノ中ニモ、單價ガ出テ居リマスカラ、
單價ダケヲ比較スルナラバ、確ニ南洋材ハ
高クナツテ居ル、併ナガラ南洋材ト云フモ
ノハ、角材トカ、或ハ丸太トカ色々ナモノ
ニナツテ入ッテ來ルノデアリマスガ、北海道
ノ材ハ、荒削リノ角材ニナツテ主ニ入ル、

丸太モアリマスケレドモ、大部分荒削リノ
材ニナツテ來ルノデアリマスガ、サウ云フ
本當ニ用途ニ用ヒル程度ニ製材致シタ場
合ノ歩止リノ點カラ云フト、北海道材ハ漸
ク五割程度ニシカ止マラナイガ、南洋材ハ
七割八割ノ程度ニ歩止リガアル、其點カラ
單價ヲ割出スト、遙ニ南洋材ノ方ガ安い、
斯ウ云フコトニ承知スルノデアリマスガ、
ソレ等ヲ一體計算ノ上ニ於テ、南洋材ト北
海道材トノ市價ノ比較ハドンナ風ニナツテ
居リマス、伺ヒタイト思ヒマス

○木島政府委員

御尋ノ第一ノ用途ノ點デ
アリマスガ、是ハ御述ニナリマシタ通り、
兩者ノ用途ガ全然一致シテ居リマシテ、或
ハ用途ガ違フト云フヤウナコトヲ言フ人モ
アリマスガ、ソレハ間違ッテ居リマス、實際
ニ於テハ全然一致シテ居リマシテ、建築用
材トシマシテモ、構成材ニ使ハレズニ雜作
材ニ使ハレルヤウナ次第デアリマス、大體
ノ割合ヲ申シマス、南洋材ハ建築用材ト
シテ三割、家具材トシテ五割、雜作用材ト
シテ二割ト云フ位ノ割合ニ使ハレテ居リマ
ス、北海道ノ潤葉樹材ハ、建築用材トシテ
二割カラ二割五分、家具用材トシテ六割、
雜作用材トシテ一割五分位、大體用途ハ一
致シテ居リマス、ソレカラ實際此東京市場

ニ於ケル市價ノ割合カラ言ヒマス、云フ
ト、サウ南洋材ノ爲ニ北海道材ガ壓迫ヲ受
ケテ居ナイヤウニ思フノデアリマスガ、是
ハ今御話ニナリマシタ通り、全ク實際ニ使
用シマス場合ニ、歩止リガ非常ニ違フノデ
アリマス、北海道材ノ方ハ荒板ノ場合ニ五
割程度、ソレカラ南洋材ノ方ハ荒板ノ場合ニ
七割カラ八割程度ノ歩止リガアリマシテ、
其間ニ大變ナ開キガアルノデアリマシテ、
荒板ニナリマス、云フト南洋材ノ方ガ大變
ニ安い、ソレガ爲ニ北海道材ノ方ガ壓迫ヲ
受ケル、サウ云フ結果ニナツテ居リマス、ソ
レヲ比較シテ見マス、云フト、昭和七年ノ
南洋材ノ平均値段ガ一石六圓四十七錢、ソ
レカラ内地品ノ方ガ五圓五十三錢、デゴザイ
マス、是ハ今申シマスル荒板ヲ作ルコトニ
致シマシテ計算シテ見マス、云フト、荒
板一石ヲ作ルノニ、南洋材ノ方ハ九圓二錢、
ソレカラ内地品ノ方ハ十一圓六錢トナリマ
シテ、其邊ニ二圓四錢バカリノ差ガアル、
斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○手代木委員

次ニハ斯様ナ反對ガアルノ
デアリマス、海運業ニ重大ナル影響ヲ及ボ
ス南洋材ガ、自然輸入ガ減少スルコトニナ
レバ、其點ニ於テ本土ト南洋トノ間ニ、交
通ノ上ニ非常ナ影響ヲ與ヘル、主ニ南洋材

ハ、海運業者が歸リノ船ノ船腹ヲ滿ス爲ニ安ク積ンデ來ル、サウ云フヤウナコトガ自然出來ナクナレバ、航海ノ上ニ影響ヲ受ケテ來ル、自然南洋トノ交通方其爲ニ不便ニナル、斯ウ云フヤウナコトヲ申スノデアリマスケレドモ、南洋材ガ海運業者ノ收入ナドニ關係スル點カラ見マスレバ、大シテ關係ガナイ、何カ一割カ一割五分程度ノモノデアルト云フヤウニ思ハレルノデアリマス

ルガ、假ニ關稅ヲ課シマシタ所ガ、其數量ガドノ程度ニ減ルカ知リマセスガ、大シタコトモナイモノトスルナラバ、殆ド影響ガナイモノト考ヘテ差支ナイト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○飯田大藏書記官 今ノ御尋デスガ、是ハ矢張南洋材ニ課稅致シマスニ付キマシテ、相當強イ反對ノ一ツダト考ヘテ居ルノデアリマス、此點ハ矢張貿易品ガ多少減ルト云フコトニナルノデアリマスカラ、全然影響ガナイトハ考ヘラレナイノデアリマス、多少影響ガアルト云フコトハ考ヘラレルノデアリマスガ、南洋材ニ對シテ多少ノ課稅ヲ致シマシテ、内地潤葉樹ヲ保護スルト云フ點カラ考ヘレバ、是ハ已ムヲ得ナイカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○手代木委員 其次ニ問題ニナリマスノ

ハ、報復關稅ノ問題デアリマスガ、是ハ比律賓ナドデ留保ニナツテ居ッタ、確カ玉葱ニ馬鈴薯、ソレカラ綿絲、綿布、左様ナモノモ既ニ二月ノ二十八日カニ大統領ノ認可ガアッタヤウニ思フノデアリマスガ、サウシマス、報復關稅ト云フモノニ付テハ、大體問題ガ消エタコトニナルノデアリマセウカ

○飯田大藏書記官 其點ハ今御話ノ通り、之ヲ審議致シマスル際ニハ、マダ一般關稅ヲ引上ゲル案ハ、比律賓ノ議會ヲ通過致シマシテ、總督ノ裁可ハ經マシタガ、米本國ノ大統領ノ裁可ヲ經テ居リマセヌノデゴザイマシタガ、今御話ノ如ク、先月二十四日ニ大統領ガ「サイン」致シマシテ、二十七日カラ實施スルコトニナツテ居リマス、ソレデ此問題ハ一應解決シタコトニナツテ居リマス

○手代木委員 次ニハ内地ノ關係デアリマスガ、中ニハ南洋材取扱ニ付テ、南洋材ノ統制組合ヲ設ケテ、輸入及販賣ニ付テ統制ヲ圖ル、サウ云フコトニ依テ北海道材ノ壓迫ノナイヤウニ調節ヲ圖ル、又一方ニ於テハ、北海道材ノ方デモ組合ガ統制ノ方法ヲ執ッタナラバ、ソレデ以テ調和ガ取レルデヤナイカト云フヤウナコトヲ言ハレテ、關

稅ヲ課スルマデモナイヤウナ意見モアルノデアリマスガ、之ニ對シマシテ當局ハ如何ナル御見解ヲ御有チニナルカ伺ヒタイ

○飯田大藏書記官 其點モ之ヲ審議致シマス際ニ、考慮致シタノデアリマスガ、統制ガ付キマシタト言ヒマシテモ、ソレハ價額ノ統制等デアリマシテ、ソレデ以テ内地ノ潤葉樹材ガ直ニ救済サレルト云フ風ニモ考ヘラレマセヌノデ、矢張關稅ヲ相當設ケルコトガ必要ダト考ヘル次第デアリマス

○手代木委員 モウ一ツハ南洋材ニ課稅ヲシテ潤葉樹材ヲ保護スルコトニナレバ、内地ノ森林ハ濫伐セラレルコトニナリハシナイカ、斯ウ云フコトヲ憂フルノデアリマス、是ハ我國林業政策ニ非常ナ關係ヲ有ツ議論デハアリマスルガ、私ノ承知スル所ニ依レバ、我國ノ潤葉樹材ノ蓄積材石數ハ四十七億ニ達スルヤウデアリマシテ、假ニ一年四千七百萬石位ヅ、伐採ヲ致シマシテモ、百年ノ輪伐ガ出來ル、斯ウ云フ點カラ申セバ、斯様ナ議論ハ問題ニナラナイト思フノデアリマス、此點ニ對シテ、農林當局ハ如何ニ御考ニナリマセウカ

○木島政府委員 只今ノ南洋材ニ關稅ヲ課スルト我國ノ潤葉樹材ノ濫伐ニナリハシナイカト云フ御尋デアリマスガ、此點ニ付キ

マシテハ、北海道邊リニ於キマシテハ、國有林、道有林、總テノ施業案ガ出來テ居リマシテ、ソレニ基イテ施業シテ居ル譯デアリマスカラ此位ナ値上リデ濫伐ニ陥ルトハ考ヘラレナイノデアリマス、此南洋材ニ匹敵致シマス潤葉樹ノ蓄積ハ、北海道ダケデモ六億六千萬石トシテ、内地ニ於テハ現在ノ所ハ之ニ相當スルモノガ出ルノハ四十萬石程度ニ止リマスルガ、北海道ニ於テハ六億六千萬石アリマシテ、之ヲ曩ニ申シマシタ適當ノ施業計畫ニ付テ見マスレバ百六十年カ、或ハ二百年位ハ生命ガアルカト、斯様ニ考ヘテ居リマス、此關稅ノ爲ニ内地材ノ濫伐ヲ來スト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ

○手代木委員 次ニハ關稅率ノ問題デアリマスガ、今回ノ御提案ハ、每立方「メートル」二圓ト云フコトニナツテ居リマス、此潤葉樹材ヲ取扱フ方カラ云ヒマスト甚ダ低キニ考ヘルノデアリマス、昨年ノ六月、私ノ手許ニ在ル材料ニ依リマス、第一ニ山林會ノ案ト云フモノガ出來テ、是ハ每立方「メートル」十一圓三十錢、ソレカラ第二北海道ノ方ノ案ガ十三圓六十錢、而シテ大藏省ノ幹事會案ト云フモノガ六圓三十錢、斯様ニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ幹事會案

ニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ幹事會案

ハドウ云フノデアリマスカ分リマセスガ、六圓三十錢、是デ見マス、今度ノハズット低クナツテ居ル、而シテ先程農林當局ノ御説明ニ依リマス、今日ハ南洋材ト北海道材トノ實際ノ價額ノ差ニ於テ、一石二圓四錢ノ差ガアルト云フヤウナ御話デアリマスガ、此差カラ考ヘマシテモ、今回ノ每立方「メーター」二圓ト云フモノハ、石ニ直セバ、確カ五十五六錢ノモノデアリマセウガ非常ニ低イノデアリマス、是デハ保護ヲスルニ致シマシテモ、洵ニ效果ガ僅少デアルト考ヘマス、何ガ故ニ斯様ニ——尤モ爲替ノ變動モアリマスケレドモ、爲替ノ變動ハ先程伺ツタ通り二〇%、實際ノ影響ト云フモノハ其程度デアルト云フ話デアリマス、サウ云フコトニナリマス、何故此課税ノ率ヲモット引上ゲラレナカッタノデアルカ、此點ニ付テハ尙ホ將來移入ノ數量デモ増ストカ何トカ云フヤウナコトデモアルナラバ、モウ少シ之ヲ増加スル御豫定デモアルノデアルカ、其邊ノ御意思モ併セテ御答ヲ願ヒタイ

○飯田大藏書記官 私ヨリ簡單ニ申上ゲマス、此率ニ付キマシテモ、先般モ申シマシタヤウニ、幹事會ノ間ニ於キマシテモ、特別委員會ノ間ニ於キマシテモ、尙ホ調査會ノ間ニ於キマシテモ、色々議論ガアリマシタ、

況ヤ當業者ノ御希望ニ依リマシテハ、非常ニ高イモノモアルノデアリマスガ、縷々申上ゲマシタヤウニ、此南洋材ニ付キマシテハ、近來色々問題モゴザイマス、殊ニ最近ノ事情ト致シマシテハ、今仰セニナツタヤウナ爲替ノ關係モゴザイマスシ、其他色々事情ヲ考慮致シマシテ、サウ突飛ニ高イ譯ニモ行クマイ、殊ニ爲替ハ農林當局カラ色々御話ニナリマシタヤウニ、實績ハ實ハソレ程響イテ居リマセヌ、爲替ノ甚ダシク下リマシタノハ下半年ノ間デゴザイマシテ、御商賣ノ方デ御承知デゴザイマセウガ、爲替ガ下リマシタカラ貿易品ガ直グ上ル、斯ウ云フ譯ニモ參リマセヌ、其間ニ年契約ト云フモノモアリマセウシ、色々ノ事情ガアリマスノデ、之ヲ以テ直グ一言ニ言ツテシマフ譯ニモ行カヌノデアリマシテ、現在ニ於キマシテハ各種ノ事情ヲ考慮致シマシテ、マア此程度ガ宜カラウト云フコトデ、一應之ニ決ツタノデアリマス、尙ホ將來ニ爲替ノ事情ガ變リ、又輸出入ノ狀況ガ變リ、又内地需要ノ關係ガ變リマシタ際ニハ、其際ニソレニ應ズル關稅率ヲ設ケルト云フコトハ、是ハ當然カト思ツテ居リマス

○手代木委員 尙ホ四五點質問シタイ事ガアリマスケレドモ、何レ何方カノ質問ノアリマス際ニ關聯スル際、或ハ適當ノ機會ニ於テ追加シテ御許ヲ願フコトシテ、只今ハ是デ打切りタイト思ヒマス

○金光委員長 昨日ノ丹下君ノ質問ニ對シテ、村上畜産局長カラ答辯ニ付テ發言要求ガアリマシタ、之ヲ許可致シマス——村上畜産局長

○村上政府委員 昨日ノ本委員會ニ於キマシテ、丹下委員ヨリ高粱及玉蜀黍ノ輸入品ニシテ飼料ニ供セラレル物ノ問題ニ付テ御質問ガアリ、ソレニ對シテ農林當局ハ如何ニ考ヘテ居ルカト云フ御尋ガアリマシタノニ對シマシテ御答ヲ申上ゲマス、或ハマダ速記録モ出來テ居ラナイコトデアリマシテ、此席ニ於テ伺ツタ方ヨリ承ツテ御答ヲ申上ゲル次第デアリマスカラ、或ハ御尋ノ趣旨ヲ取違ヘテ居ル點ガアラウカト云フコトヲ虞レマスガ、左様ナ次第デアリマスレバ、更ニ又御尋ヲ戴キマシテ御答ヲ申上ゲマスルコトニ致シマシテ、簡單ニ御答ヲ致シマス、御承知ノヤウニ輸入セラレテ居リマスル高粱及玉蜀黍ハ、是ハ大部分ガ養鶏ノ飼料ニ供セラレルノデアリマス、養鶏業或ハ畜産業ス様ナ立場カラ申シマスナラバソレ等ガ極ク低廉ニ、而シテ極ク簡便ニ輸入セラレ、養鶏家ノ手ニ渡ルト云フコトハ、何

處マデモ望マシイ點デアリマシテ、左様ニ努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、現在ノ取扱ハ、御承知ノヤウニ一面内地ノ澱粉業ノ保護ト云フ見地カラ、昨年ノ議會ニ於キマシテ玉蜀黍關稅ノ引上、高粱關稅ノ設定ヲ見タノデアリマス、同時ニ飼料ノ關係モ考ヘナケレバナラスト云フノデ、色々大藏當局トモ御相談ヲ致シテ、其結果現在ノ扱ハ、二ツノ條件ヲ充シテ居ルモノハ飼料トシテ取扱フ、而シテ關稅定率法ニ於テハ飼料ハ無稅ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマスカラ、無稅ノ取扱ヲ受ケルト云フコトニナリマスガ、其二ツノ條件ト申シマスノハ、一ツハ養鶏組合中央會及全國購買組合聯合會、此二團體ノ取扱フモノニ限ル、モウ一ツハ、其團體ノ取扱フモノニ付キマシテモ、一定ノ加工ヲ致ス、其加工ヲ致スト申シマスノハ、「カーボン・ブラック」ト申シマシテ、黒イ煤ノヤウナモノヲ塗リマシテ、他ノ飼料ノ目的デ輸入セラレタモノデナイ、同種品トノ見分ケヲ便ナラシムル、此二ツノコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、此「カーボン・ブラック」ヲ塗ルト云フコトガ良イ方法デアルカト申シマス、ソレハ理想的ナ方法トハ私達ハ考ヘテ居ルノデハナイノデ、何カヨリ良キ方法ガアルナラバ、其方法ニ

向ッテ進マナケレバナラス、改善ノ方面ニ
向ッテ進マナケレバナラス、斯様ナ考ヲ有ッ
テ居リマス、當初申シマシタヤウニ、簡便
ニ低廉ニト云フコトガ何處迄モ産業方面カ
ラノ主眼點デアリマスカラ、「カーボン・ブ
ラック」ヲ塗付スルニ致シマシテモ、塗付ニ
關スル費用モ要ルコトデアリマスシ、又養
鶏家ノ取扱ノ便等モ考ヘナケレバナリマセ
ヌ、唯徴稅技術ト申シマスカ、稅務當局ノ
方面カラノ御考モアルコトデアリマシテ、

ナ點モ、是ハ極力避ケナケレバナラス點デ
アリマス、色々飼料トシテノ要求モアルノ
デアリマスカラ、研究ノ端緒ハ得ツ、アル
ノデアリマスケレドモ、猶色々ナ點ニ於テ
研究ヲ要スル點ガアリマスノデ、現在ノ所
「カーボン・ブラック」ノ方法ニ依ルト云フ
ヤウナ狀態デアリマス、當初申上ゲマシタ
ヤウニ、御質問ノ趣旨ヲ穿達ヘテ居リマス
ナラバ、更ニ御質問ニ應ジマシテ御答ヲ申
上ゲタイト思ヒマス

ソレ等ノ點ニ付テ「カーボン・ブラック」ノ
塗付ヨリモ、ヨリ以上良イ方法ガアレバ
其方ニ依ラナケレバナラスト云フ考ノ下
ニ、現在色々研究ヲ致シテ居リマス、獨逸
ナドデ、矢張小麦ノ飼料ニ付テヤッテ居ル方
法デハ「イオシン」ト云フモノヲ塗ッテ居ル、

○丹下委員 今ノ畜産局長ノ御答辯ハ、此
問題ノ經過及其仕事ノ取扱方ノ御話デ、私
ノ御尋シタノハサウデハアリマセヌガ、時
間ガアリマセヌノデ、次ノ機會ニ適當ナ時
間ヲ與ヘラレテ、其際モウ少シ是ハ究メテ
置キタイト思ヒマス、如何デアリマスカ

サウ云フヤリ方等モアルノデアリマス、其
品物ナドモ獨逸ヨリ取寄セテ研究ヲ致シテ
居リマス、又現在デハ「マラカイト・グリー
ン」ヲ用ヒル方法ナドモ研究ヲ致シテ居リ
マスガ、唯是ガ左様ナ扱ヲ致スニ致シマシ
テモ、其扱ヲ致シタガ爲ニ、飼料ノ質ヲ變
ズルト云フヤウナコトガアッテモナリマセ

○金光委員長 宜シウゴザイマス、本日ハ
質問ハ此程度デ止メタイト思ヒマス、尙ホ
貴族院ニ於ケル審議期間ヲモ考慮ニ入レマ
シテ、次會ニ於テ質問終了ノ運ビニシタイ
ト思ヒマス、御含ミヲ願ヒマス、次會ハ公
報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散
會致シマス

午後零時二十一分散會

ヌ、又飼料ニ供シタ結果、鶏ノ方ニ惡影響
ヲ及ボスト云フヤウナコトガアッテモナラ
ヌ、又其取扱ノ爲ニ經費ガ掛ルト云フヤウ